

未来の看護を創出し
世界に発信する

研究科案内2027

医学研究科 看護学専攻

GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE
DEPARTMENT OF NURSING

博士前期課程
博士後期課程

看護学専攻の教育・研究の特色

看護学の高度な専門性の追究ならびに看護学の実践的研究能力を培い、現場の改革に向けて実践的に学んでいきます。

■ 多様な科目構成

専攻内で履修可能な共通科目は全部で12科目。その中から専門性の追究や課題解決に必要な科目を自由に組み合わせ履修していくことができます。

科目例	説明文
看護コンサルテーション論	事例検討を通じて、コンサルタント、コンサルティの役割を体験しながら、コンサルテーションの実際を学びます。
看護継続教育	インストラクショナルデザインをベースとした学習者中心の研修プログラムの企画・実施・評価の基本を、看護職のキャリア発達やプロフェッショナル教育の観点から学びます。
高度実践フィジカルアセスメント	複雑な健康問題を有する患者に対して卓越した直接ケアを提供するために必要なフィジカルアセスメントの知識と技術を習得します。
看護統計学	看護学分野における量的研究が実施可能になるよう、医療での研究で多用される統計学的手法について学びます。

■ 高度実践看護師の育成

看護学専攻では国公立大学の中でも多彩な高度実践看護師を育成するためのコースを有しており、多くの修了生が臨床で活躍しています。がん看護学分野、老年看護学分野、小児看護学分野、精神看護学分野、クリティカルケア・周麻酔期看護学分野は、一般社団法人日本看護系大学協議会により専門看護師教育課程として認定されています。また、クリティカルケア・周麻酔期看護学分野では、術中麻酔管理領域パッケージの他、クリティカルケア分野で必要な看護師特定行為研修(8項目)が受講できます。2021年度からは、助産学分野(助産師国家試験受験資格取得可能)に加え、2022年から専門的な知識と技術を持った臨床看護教育者を育成することを目指し、看護プロフェッショナル教育学分野を開設いたしました。クリティカルケア・周麻酔期看護学分野の教育課程は、日本周麻酔期看護医学会の教育プログラムとして認定を受けました。

専門看護師(CNS)合格者 (累計 2026年3月時点)	がん看護 9名	老人看護 8名	小児看護 2名	感染症看護 14名	精神看護 25名
周麻酔期看護師 (累計 2026年3月時点)	周麻酔期看護師：28名 特定行為研修修了者：術中麻酔管理領域パッケージ22名、クリティカル領域11名				
助産師国家試験合格者 (累計 2026年3月時点)	助産学 8名				

博士前期課程 各看護学分野 分野長紹介



赤瀬 智子 教授
Prof. Tomoko Akase

連絡先
福浦キャンパス
看護教育研究棟616研究室

E-mail
akase@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等

薬剤師免許、看護師免許取得後
金沢大学大学院自然科学研究科生命科学専攻博士課程修了 博士(薬学)
北里大学病院、昭和薬科大学薬学部助教、東京大学大学院医学研究科助教、
東海大学健康科学部准教授を歴任、2012年より現職

看護生命科学分野(特別研究)

■ 研究テーマ

1. 適正な与薬方法に関する研究(看護薬理学研究)
2. 科学的根拠に基づくスキンケア方法の開発(肥満や化学療法に伴う皮膚障害・創傷)
3. クリティカルケア・周術期におけるアセスメント指標の開発、ほか

■ 研究指導方法

臨床上的の問題について、病態メカニズムから科学的根拠のある看護ケア・アセスメント指標を追究していきます。ベーシックサイエンスを基盤とし、多職種研究者と議論し、看護を可視化します。

クリティカルケア・周麻酔期看護学分野(課題研究)

■ 研究テーマ

1. 鎮痛鎮静管理・せん妄予防・睡眠障害に関する研究
2. 周術期の麻酔管理に関する研究
3. 術後の合併症予防およびQOL低下に対する評価指標の開発、ほか

■ 研究指導方法

基礎および臨床の双方向の視点から、科学的根拠のある麻酔看護及びクリティカルケアを追究していきます。重症患者および周術期患者に対し、cureとcareの両側面から包括的アセスメントができる周麻酔期看護師(特定行為の取得を含む)および、急性重症患者看護専門看護師を育成します。



▶researchmap



看護生命
科学領域



佐藤 政枝 教授
Prof. Masae Satoh

連絡先
福浦キャンパス
看護教育研究棟704研究室

E-mail
m_satoh@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等

兵庫県立看護大学卒業・同大学院看護学研究科修士課程修了 修士（看護学）
筑波大学大学院人間総合科学研究科社会環境医学専攻博士課程修了 博士（医学）
大阪大学医学部附属病院（看護師）、名古屋市立大学（助手）、
首都大学東京（准教授）、埼玉県立大学（教授）を経て、2016年より現職

基礎看護学分野（特別研究）

■ 研究テーマ

1. 看護実践の知の可視化と共有化に資する研究
2. 人々の病気や障害に伴う環境移行に資する研究
3. 患者安全に関するリスクファクターや予測モデルに関する研究、ほか

■ 研究指導方法

看護実践に資するエビデンスの創成と理論構築に向けて、人間-環境系の理論に立脚し、
対象となる人々を中心として、その周囲の環境にも働きかける看護の方略を学問として探究することを支援します。

看護プロフェッショナル教育学分野（特別研究）

■ 研究テーマ

1. 看護のプロフェッショナリズムやプロフェッショナルアイデンティティに関する研究
2. インストラクショナルデザインベースの看護の基礎・現職教育プログラムの開発
3. 看護の人材育成ならびにキャリア発達に資する研究、ほか

■ 研究指導方法

看護のプロフェッショナリズムやプロフェッショナル・アイデンティティの本質に迫る実践理論と教育実践のエビデンスの創成に
向けて、看護の人材育成やキャリア発達に資する学習者中心の教育を探究することを支援します。



researchmap



佐藤研究室
ウェブページ



玉井 奈緒 教授
Prof. Nao Tamai

連絡先
福浦キャンパス
看護教育研究棟609研究室

E-mail
tamai.nao.tx@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等

金沢大学医学部保健学科卒業・同大学院医学系研究科保健学専攻修士課程修了（保健学）
東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻博士課程修了（保健学博士）
（財）聖路加国際病院（看護師）
東京大学大学院医学系研究科（助教・特任講師・特任准教授）、2022年より現職

成人看護学分野（特別研究）

■ 研究テーマ

1. 症状マネジメントや療養生活の支援に必要なケア技術の開発・評価
2. エコーなどの可視化技術を用いたアセスメント法の開発・評価
3. 皮膚・排泄ケア技術の開発・評価

■ 研究指導方法

看護理工学研究の手法を活用し、臨床のニーズの把握から病態解明、看護に必要なシステムやモノづくりなど、
幅広い視野と思考力を習得できるよう支援します。

がん看護学分野（課題研究）

■ 研究テーマ

1. がんと共に生きる人を支えるケア・教育・実践に関する研究
2. 症状マネジメントや療養生活の支援に必要なケア技術の開発・評価
3. エコーなどの可視化技術を用いたアセスメント法の開発と実装研究

■ 研究指導方法

臨床のニーズに基づいた科学的かつ学術的な研究を通して、自立・自律して研究・高度看護実践ができるがん専門看護師
を育成します。



researchmap



成人看護学
ウェブページ



千葉 由美 教授
Prof. Yumi Chiba

連絡先
福浦キャンパス
看護教育研究棟612研究室

E-mail
ychiba@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科卒
東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士前期課程修了、同校博士取得（看護学）
所沢市保健福祉部、東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科助教、
千葉県立保健医療大学健康科学部准教授、University of Pennsylvania, School of Nursing
Visiting Scholarを経て、2013年1月より現職

先端成人看護学分野（特別研究）

■ 研究テーマ

1. 重症成人系疾患の合併症管理・症状マネジメント（摂食嚥下障害看護を含む）に関する研究
2. 先進的・集学的医療（移植・再生医療を含む）を必要とする患者に対する高度看護実践に関する研究
3. 重症・希少疾患をはじめとする重症患者へのチーム医療ならびに看護支援システム開発と評価に関する研究、ほか

■ 研究指導方法

重症疾患や希少疾患を含む多様な疾患を有する成人期以降の患者とその家族に対し、先進的かつ集学的な医療・看護の臨床課題に
取り組み、学術的手法と高い倫理観をもって自ら課題解決できる、国際的に活躍し得る研究者・高度実践家の育成を目指します。



researchmap



叶谷 由佳教授
Prof. Yuka Kanoya

連絡先
福浦キャンパス
看護教育研究棟710研究室

E-mail
ykano@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等

千葉大学看護学部卒、東京大学大学院医学系研究科修士課程修了・博士課程満期退学、東京医科歯科大学大学院論文博士取得（看護学博士）
千葉県がんセンター、東京医科歯科大学助手、神戸市看護大学助教授、山形大学教授を経て、2012年より現職

老年看護学分野（特別研究、課題研究）

■ 研究テーマ

1. 高齢者の健康増進に関する研究
2. 老年看護・介護の質向上に関する研究
3. 在宅看護・地域包括ケアシステムに関する研究、ほか

■ 研究指導方法

老年看護学におけるケア方法、管理、システム、病院～介護施設・地域・在宅等の看護やシステム等、学生個人が関心をもったテーマが追究できるよう、指導します。修了したのちに学生が少子高齢社会に必要なとされる幅広い視点・幅広い場で活躍できることを目指します。



▶researchmap



老年看護学
ウェブページ



佐藤 朝美 教授
Prof. Tomomi Sato

連絡先
福浦キャンパス
看護教育研究棟619研究室

E-mail
sato0515@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等

日本赤十字看護大学大学院看護学研究科修士課程修了 修士（看護学）
日本赤十字看護大学大学院看護学研究科博士後期課程修了 博士（看護学）、
東京都立病院（看護師・主任）、東京都衛生局医療計画部（主任・係長）、
東海大学、東京医療保健大学准教授を経て、2022年2月より現職

小児看護学分野（特別研究、課題研究）

■ 研究テーマ

1. 重症心身障害児の意思決定・コミュニケーション支援開発に関する研究
2. 病気や障がいをもつ子どもの発達・療養支援、ケア開発に関する研究
3. 子どもとその家族のヘルスプロモーションに関する研究

■ 研究指導方法

小児保健医療分野における課題を明確化にし、子どもの最善の利益に資する看護実践とエビデンス構築への研究能力を育成します。高度医療から在宅までを包括した高度な看護実践、研究による課題探究ができる小児看護専門看護師を育成します。



▶researchmap



中村 幸代 教授
Prof. Sachiyo Nakamura

連絡先
福浦キャンパス
看護教育研究棟405研究室

E-mail
nakamura@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等

聖路加看護大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程修了（看護学）
聖路加看護大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程修了（看護学）
横浜市立大学医学部附属病院、市民総合医療センターで勤務後、
聖路加看護大学助教、慶應義塾大学看護医療学部講師を経て、2015年より現職

母性看護学分野（特別研究）

■ 研究テーマ

1. 様々なライフステージにある女性の健康に関する研究
2. 周産期のヘルスプロモーションに関する研究
3. 母性看護学や助産学にかかわる教育・管理・国際に関する研究、ほか

■ 研究指導方法

研究と実践、研究と社会活動との実質的なつながりを意識し、実践的研究能力で現場を改革したり、地域への研究成果の還元ができるように支援します。

助産学分野（課題研究）

■ 研究テーマ

1. 周産期のヘルスプロモーションに関する研究
2. 周産期・育児期のケアに関する研究
3. 国際助産学や災害助産学に関する研究、ほか

■ 研究指導方法

エビデンスに基づいた助産ケアを追究し、女性、母子、家族、社会の多用な健康課題とニーズに対応できる高度な助産実践能力が修得できるように支援します。



▶researchmap



横浜市立大学
医学部看護学科
母性看護学研究会

横浜市立大学
母性看護学
研究会の
ホームページ



女性と助産師のための
冷え症研究
hiesho research for
women and midwives



山田 典子 教授
Prof. Noriko Yamada

連絡先
福浦キャンパス
看護教育研究棟709研究室

E-mail
yamada.nor.zx@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等

横浜市立大学医学部附属看護専門学校第一看護科卒
東京医科歯科大学大学院論文博士取得（看護学博士）
札幌医科大学医学部法医学教室訪問研究員、横浜市立市民病院、
横浜市立大学医学部附属病院、横浜市保健師経験10年を経て
横浜市立大学看護短期大学部助手、青森県立保健大学講師、札幌市立大学准教授、
日本赤十字秋田看護大学教授を経て、2023年より現職

精神看護学分野（特別研究）

■ 研究テーマ

1. 精神科看護に関する研究
2. 精神保健に関する研究
3. 虐待等被害者のトラウマ・インフォームド・ケアに関する研究
4. フォレンジング看護に関する研究

■ 研究指導方法

精神看護学における援助方法、管理、病院から地域・在宅等、各々が関心を持ったテーマが追究できるよう、幅広い視点・幅広い場で必要とされる研究について支援します。



▶researchmap



精神看護学
ウェブサイト



有本 梓教授
Prof. Azusa Arimoto

連絡先
福浦キャンパス
看護教育研究棟716研究室

E-mail
arimotoa@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等

東京大学医学部健康科学・看護学科卒業
東京大学大学院医学系研究科修士課程修了 修士（保健学）
東京大学大学院医学系研究科博士課程修了 博士（保健学）
東京都板橋区保健師、東京大学助教、横浜市立大学准教授を経て、
2022年11月より現職

地域看護学分野（特別研究）

■ 研究テーマ

1. 地域看護の対象理解に資する研究（親子・成人・高齢者、家族・集団・組織等）
2. 地域看護の実践方法（行政、在宅、学校、産業）の可視化と効果評価に関する研究
3. 地域看護の対象理解と評価に向けた新たな指標開発に関する研究 ほか

■ 研究指導方法

地域の多様な健康課題と社会動向を察知し明確化する力、科学的根拠に基づく実践能力、地域看護学の実践の質の向上と学術の発展に寄与する研究成果を発信し政策提言できる研究能力を修得できるよう支援します。



▶researchmap



横浜市立大学
地域看護学
ホームページ



読んで、もどる心。
Minds1020Lab

在校生の声



齋藤 颯吾
SOGO SAITO

入学年度
2025年度

所属分野
小児看護学分野

専門性の深化と理論の統合:根拠に基づいた小児看護の実践を目指して

学部時代に「小児専門看護師」という存在を知り、いつか自分も小児看護を極めたいと目標を志してきました。

臨床経験を重ね、病棟での役割が変化していく中で、自らの看護技術や知識がその立場に十分見合っているのか不安を感じるようになったことが、大学院進学を志した大きな転機です。

現在は、日々の看護の根拠を裏付ける小児看護学の諸理論や、高度な実践に不可欠な知識を多角的に学んでいます。講義や議論を通じて、これまで経験的に行ってきたケアが理論と結びつく瞬間が多くあり、学びが深まる喜びを実感しています。

今後は、残りの学生生活を通じて「専門看護師としてどのような役割を担うべきか」を明確に描き、卒業後は得た知見を患者さんや臨床現場へ還元できるよう、より一層研鑽を積んでいきたいと考えています。

修了生の声



長田 智香
CHIKA NAGATA

修了年度
2025年度

所属分野
がん看護学分野

がん医療を支える、高度な看護実践とチーム医療の向上を目指して

看護師として臨床で約20年経験を積んできましたが、より質の高い看護を実践できるようになりたいと考え、大学院への進学を決めました。

在学中は、対象を構造化して捉える論理的思考に加え、多角的な視野で対象を捉えるアセスメント力や、先入観なく相手と向き合う真摯な態度を学びました。充実した環境と先生方の熱心で親身なご指導のもと、理論と実践を行き来し、自分自身と深く向き合った経験は、専門看護師として役割を発揮する上での貴重な財産です。

今後は、大学院での学びをがん看護専門看護師としての実践に還元するとともに、多様なケアの場が連携し、質の高いがん医療を提供できる仕組みづくりに尽力したいと考えています。



博士後期課程 各研究分野 分野長紹介

研究分野 研究指導教授、連絡先	研究課題
<p>生命科学 教授 赤瀬智子 akase@yokohama-cu.ac.jp</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物療法・補完代替療法のエビデンスに関する基礎研究（鎮痛・鎮静、アロマセラピーなど） 2. 科学的根拠に基づくスキンケア方法の開発（肥満や化学療法に伴う皮膚障害、創傷など） 3. 周術期および重症患者の管理とQOL向上に関する研究（疼痛管理、慢性痛・睡眠障害・せん妄予防など） 4. 症状・生体機能に対する評価指標の開発
<p>看護ケアシステム開発学 教授 佐藤政枝 m_satoh@yokohama-cu.ac.jp</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護におけるケアシステムの開発と理論の構築 2. 学習者中心のディープ・アクティブ・ラーニングを基盤とした教育プログラムの開発 3. 人間-環境系の理論を基盤としたケア環境デザインの開発
<p>成人看護科学 教授 玉井奈緒 tamai.nao.tx@yokohama-cu.ac.jp</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人期におけるセルフマネジメントを支えるケアの開発・評価・実装 2. がん治療中の患者の副作用に対するケアに関する研究 3. 可視化技術を活かしたアセスメントとケア開発に関する研究 4. 皮膚・排泄ケアに関する研究
<p>機能再生看護学 教授 千葉 由美 ychiba@yokohama-cu.ac.jp</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 重症成人・老年系疾患に伴う合併症・症状マネジメント（摂食嚥下障害を含む）に対する新たな高度看護実践の開発と効果評価に関する研究 2. 移植や再生医療をはじめとする先進的・集学的医療を必要とする患者への高度看護実践の開発と効果評価に関する研究 3. 希少疾患を含む重症・急性期疾患患者の効果的な機能回復や自立支援のための高度看護実践ならびにチーム医療に関する研究、ほか
<p>老年看護学システム開発 教授 叶谷由佳 ykano@yokohama-cu.ac.jp</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の健康増進・QOLに関する研究 2. 老年看護方法の開発に関する研究 3. 高齢社会における退院支援システムや多職種連携システム開発に関する研究 4. 高齢社会における在宅看護・ケアシステム開発に関する研究
<p>小児看護学 教授 佐藤朝美 sato0515@yokohama-cu.ac.jp</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 重症心身障害児のコミュニケーション支援開発に関する研究 2. 病気や障がいをもつ子どもの発達・療養支援、ケア開発に関する研究 3. 子どもとその家族のヘルスプロモーションに関する研究
<p>ウィメンズヘルス看護学 教授 中村幸代 nakamura@yokohama-cu.ac.jp</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 女性の健康とQOL向上に資するケア開発・評価・実装研究 2. 周産期のヘルスプロモーションへの効果的支援に関する研究 3. 女性の健康に関するケアシステム開発の研究
<p>社会精神看護学 教授 山田典子 yamada.nor.zx@yokohama-cu.ac.jp</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 虐待や嗜癖行動、法医（フォレンジング）看護の対象者への支援に関する研究 2. アプリを用いた体表観察と看護記録に関する研究 3. 精神障害者とその家族に関する研究
<p>地域ケアシステム看護学 教授 有本梓 arimotoa@yokohama-cu.ac.jp</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域ケアシステム看護の新たな理論構築や評価指標・技術開発に資する研究 2. 全世代の地域住民の健康とQOL向上に資するケア開発・評価・実装（妊娠期・小児期・青年期・成人期・老年期・終末期） 3. 民産官学協働学際研究による地域ケアシステム開発に向けた研究 4. 孤立・孤独対策など地域環境構築を介したケア開発・評価に関する研究

専攻長メッセージ



横浜から世界へ 次代の看護学を担うリーダーを育成します

本学大学院看護学専攻では、人々のよりよい健康の維持や改善のために必要な看護学を、創造的に、科学的に、楽しく追究していきます。看護学の成果を可視化できる看護教育研究者および看護学を基盤に質の高い実践に貢献する看護実践者の育成を目指します。看護学の可能性を一緒に広げていきましょう。

看護学専攻長 叶谷 由佳

2027年度 入試概要

	博士前期課程		博士後期課程
	第1期募集	第2期募集*	
募集人員	25名 (クリティカルケア・周麻酔期看護学分野5名程度、 助産学分野3名含む)	若干名	6名
出願期間	2026年7月27日～8月7日 消印有効	2027年1月4日～12日 消印有効	
試験日	2026年9月2日	2027年1月26日	2027年1月27日
選抜方法	筆記試験(英語、専門科目)および面接試験 英語は英語力に関するスコアが必要になります。		口述試験

*第1期試験の結果によっては、第2期試験を実施しない場合があります。

■ オープンラボ

以下の日程で看護学専攻オープンラボを開催いたします。各看護学分野の教員が皆様をお迎えし、様々な質問にお答えします。本学看護学専攻の受験を検討中の方、大学院進学を検討中の方など、この機会に是非お気軽にオープンラボにご参加ください。

- 開催日時：2026年4月17日（金）16時～
- 開催方法：オンライン(Zoom)
- 内容：専攻の紹介、入試についての説明、在校生による大学院体験談、各分野によるオープンラボ、など

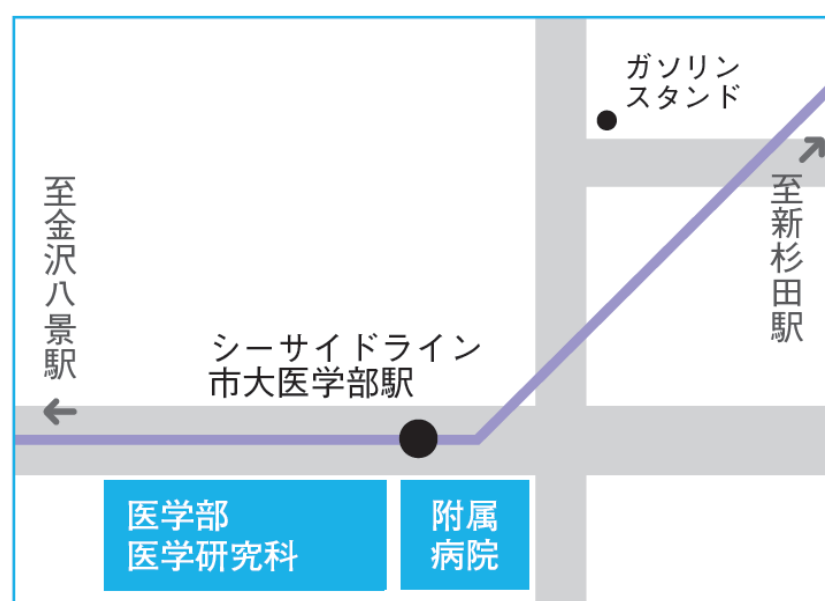
※申し込み方法等の詳細は、看護学専攻入試関連情報ページをご確認ください。

看護学専攻入試関連情報ページ

<https://www.yokohama-cu.ac.jp/nur/admis/index.html>

■ 交通アクセス

横浜市立大学福浦キャンパス
〒236-0004横浜市金沢区福浦3-9
JR「新杉田駅」または京浜急行「金沢八景駅」より
シーサイドライン「市大医学部駅」下車徒歩1分



連絡先

受験を考えている方でご質問のある方は下記までお気軽にお問合せください。

横浜市立大学 福浦キャンパス 医学教育推進課 看護学専攻担当

Tel: 045-787-2532(平日 9:00-17:00) E-mail: ycugradkng@yokohama-cu.ac.jp

Web: <https://www.yokohama-cu.ac.jp/nur/>

